



令和2年11月13日

各位

会社名 燦キャピタルマネージメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 前田 健司
(コード番号：東証JASDAQ2134)
問合せ先 取締役 経営企画室長 松本 一郎
(TEL. 03-6452-9626)
URL <http://www.sun-capitalmanagement.co.jp>

クリーンエネルギー事業における販売代金についての会計上の処理に関するお知らせ

当社は、本日公表の「令和3年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、令和2年7月2日付「クリーンエネルギー事業における売上計上に関するお知らせ」にて公表しておりました、クリーンエネルギー事業における100百万円の販売代金について、会計上の処理を下記のとおりとすることといたしましたので、お知らせいたします。

記

当社は、クリーンエネルギー事業における電気自動車の再生バッテリーを活用した可搬型蓄電池「どこでもdenchi」等の蓄電池製品関連事業において、その派生取引として、「どこでもdenchi」に搭載する再生リチウムイオンバッテリーモジュール、事業会社への販売を成約し、販売代金100百万円の決済も完了したことから、当初、令和3年3月期第2四半期(以下「本第2四半期」といいます。)において100百万円の売上を一括計上する予定でしたが、監査法人との協議の結果、本第2四半期においては前受金として会計処理することといたしました。この経緯については、以下の通りです。

当社は、「どこでもdenchi」等の蓄電池製品に関する事業に関して、販売事業、リース事業(ファイナンス・リース、オペレーティング・リース※)を想定しております。想定している各事業スキームの概要は以下のとおりです。

《販売事業》

当社による最終ユーザーへの当該製品の販売事業

《リース事業》

当社独自の調達資金での当該製品製造後、当社による最終ユーザーへのリース事業

当社からリース会社への当該製品の販売後、リース会社による当社を経由する最終ユーザーへの転リース事業

※ファイナンス・リース：リース契約期間中、双方で契約解除が出来ないリース取組。

オペレーティング・リース：リース契約期間中、双方で契約解除が出来るリース取組。



今回の取引は、まず当社が事業会社にバッテリーモジュールを販売し、当該事業会社において当該モジュール単体、または当該モジュールを使用して製造した「どこでも denchi」等の蓄電池製品を当社にリースした上で、当社が最終ユーザーへのオペレーティング・リース（転リース）を行うというもので、事業会社は、当社から当該モジュール等のリース料を得るというスキームとなっております。

当初は、当該モジュールの販売代金の決済も完了していること及び当該モジュールにおける今後の事業スキームがオペレーティング・リースであることから、当該販売代金 100 百万円の売上を一括計上するものと判断しておりましたが、会計上の処理に関して監査法人より指摘があり、会計の専門家による意見も考慮した上で監査法人と協議した結果、当該販売代金は、一旦、前受金として会計処理し、当該モジュール単体または当該モジュールを使用した「どこでも denchi」等の蓄電池製品が、販売またはリースにより最終ユーザーに渡った時点で、都度、売上計上することが妥当であるとの結論に至り、当該会計処理を行うことといたしました。

以上